

ULTINA On Demand Platform
シェアード・ホスティング ユーザーマニュアル

【Ver.1.3】

2013/07/23

ソフトバンクテレコム株式会社

目次

3. ユーザーコントロールパネル	2
------------------------	---

3. ユーザーコントロールパネル

3-1 ログイン方法



Parallels Plesk Panel 9.5
にログインする

ログイン名を "ログイン" に、パスワードを "パスワード" フィールドに入力し、"ログイン" をクリックして下さい

ログイン

パスワード

インターフェース言語

[パスワードを忘れましたか?](#)

(1) ログイン

開通通知書でお送りした URL にアクセスしログインします。

ログイン: メールアカウント名

(XXX@お客様ドメイン名)

パスワード: メールパスワード



test1@shesca.biztest.ultima.jp

ツール

- プリファレンス
- 権限
- メールボックス
- 転送
- メールグループ
- グループ
- 自動応答
- Webメール

情報

- コントロールパネルアクセス
- 転送
- メールグループ
- アンチウイルス (なし)
- メールエイリアス なし
- オン
- Off
- メールボックス
- 自動応答
- Spam フィルタ
- オン
- Off

(2) ユーザー画面

ユーザー画面が表示されます。

※次以降の説明にある以外の項目は利用しません。

3-2 パスワードの変更方法

プリファレンス

メールアカウントプロパティ

メールアカウント名 *

test1@shesca.biztest.ultima.jp

古いパスワード

新しいパスワード

パスワードの確認

コントロールパネルアクセス

ボタンラベルの長さ

インターフェース言語

JAPANESE (Japan)

インターフェーススキン

Vista

複数セッションを許可する



インターフェース画面が完全に表示されるまで、ユーザがコントロールパネル上の作業を行えないようにする



(1)プリファレンス画面

ユーザ画面にて

「プリファレンス」を選択します。

新しいパスワードおよびパスワードの確認に新しいパスワードを入力してください。

3-3 メール自動転送の設定方法



(1) ユーザ画面

ユーザ画面にて「メールグループ」をクリックします。

メールグループメンバーの追加

アドレス _____

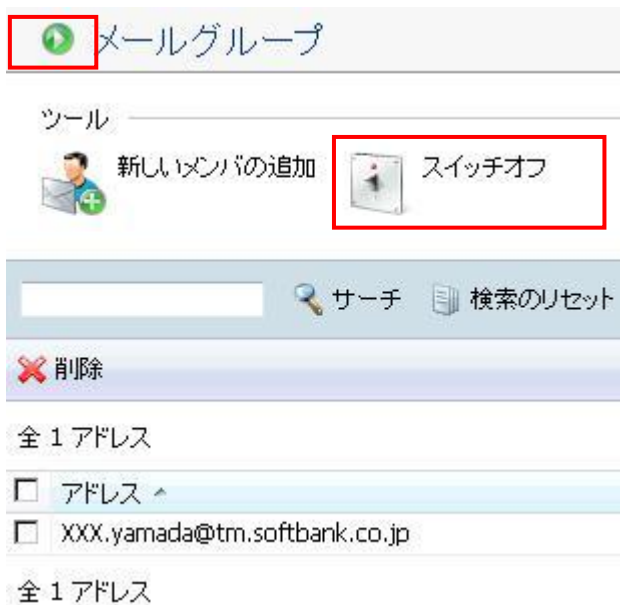
メールアドレス *

* 必須フィールド

(2) メールグループメンバーの追加

メールアドレス欄に転送先のメールアドレスを入力します。(外部アドレスも可能です。)

複数ある場合は繰り返し入力します。



(3) 設定の反映

メールグループの画面に戻り、「スイッチオン」をクリックしてください。「スイッチオフ」およびメールグループ前のマークが赤色から緑色に表示が変わったことを確認します。

※この作業をおこなわないと設定が反映されません！必ず実施してください。

3-4 メール自動応答の設定方法



(1) ユーザ画面

ユーザ画面にて「自動応答」をクリックします。



(2) メール自動応答

「新しい自動応答の追加」をクリックします。

🔴🔴 自動応答 forttest1@shesca.biztest.ultima.jp
終了をクリックして、自動応答を作成します

プリファレンス

有効な自動応答 ☒

自動応答名 *

受信メールの転送先アドレス

状態

指定ワード

- 常に返信します
- 件名中に
- 本文中に

返信の件名 *

返信

返信先アドレス

メール送信時のフォーマット

☒ 平文テキスト ☐ HTML メール

エンコード

返信テキスト

制限

同一のアドレスへの返信上限回数: * 回/日

保存 * 一意なメールアドレス

(3) 自動応答画面

①自動応答名

本自動応答の名前を入れます。

②受信メールの転送先アドレス

自動応答中の転送先を設定します。※メールグループで対象のアドレスに転送設定されている場合、ここで指定しなくても転送されます。

③状態

自動応答する条件を指定します。
また返信時の件名を決めます。
デフォルトの<request_subject>では、Re: <送信者の件名>となります。

④返信

【送信先アドレス】

自動応答メールを受け取った方がそのメールに対し返信する際の、返信先アドレスを指定します。

特に指定がなければ設定は不要です。

【メール送信時のフォーマット】

平文テキスト、HTMLメールのいずれかを選択できます。

【エンコード】

自動応答メールのエンコードを指定できます。

【返信テキスト】

本文を記載します。

⑤制限

【同一アドレスへの返信上限回数】

自動応答設定期間で、同一アドレスからメールが来た場合の返信回数を決定します。

【保存】

メールサーバ負荷を減らすため、自動応答が記憶する固有のアドレスの数を制限できます。

【新しい添付ファイル】

添付ファイルを指定します。



(4)メール自動応答

「スイッチオン」をクリックします。

各アイコンが緑色に変化します。

※自動応答をおこなう必要がある場合に、スイッチオンとしてください。

また、休暇等から戻られた場合は、「スイッチオフ」をクリックし、自動応答機能を無効としてください。



(5)メール自動応答

用途に応じて複数の自動応答ルールを作成した場合は、利用するルール以外のアイコンをクリックし無効にしてください。